



# AIを活用した実務プロダクト開発プロセスの共有

四半期報告会

2025/07/25

リテールアプリ共創部 マッハチーム

高垣龍平

# プロジェクト概要

## 株式会社BEAMS様 LINEミニアプリ会員証開発

- ・期間: わずか3ヶ月で完結 (要件定義→開発→受け入れテスト→リリース)
- ・開発期間: 7/1~8/5のたった1ヶ月
- ・体制:
  - PM: 日吉杏太
  - 開発: 高垣龍平 (メイン) + 太田聖治 (レビュー・サポート)
  - デザイン: 藤田花梨

## アプリ規模

- ・画面数: 10ページほど
- ・機能数: 8機能ほど

⚠️ ポイントをご利用するには会員登録が必要です

ゲストユーザー様



BEAMS CLUB ID : 0020000728  
PIN : 1166

会員ステージ： ORANGE

ポイント付与率： 2.00 %

ご利用可能ポイント： 0 ポイント

期間限定ポイント 0 ポイント含む

現在のマイル： 0 マイル

2026年2月28日迄に50000マイル取得で来年度SILVERステージからスタート

会員登録をする

BEAMS 公式オンラインショップは [こちら](#)

We BEAMS 公式アプリ「WeBEAMS」は [こちら](#) 入手

vConsole

すでに、BEAMS CLUB IDをお持ちではないですか？

複数のBEAMS CLUB IDで貯まったポイントや購入履歴をひとつのIDに合算はできません。

分からぬ場合は、「持っている」を選択しログインできるかお試しください。



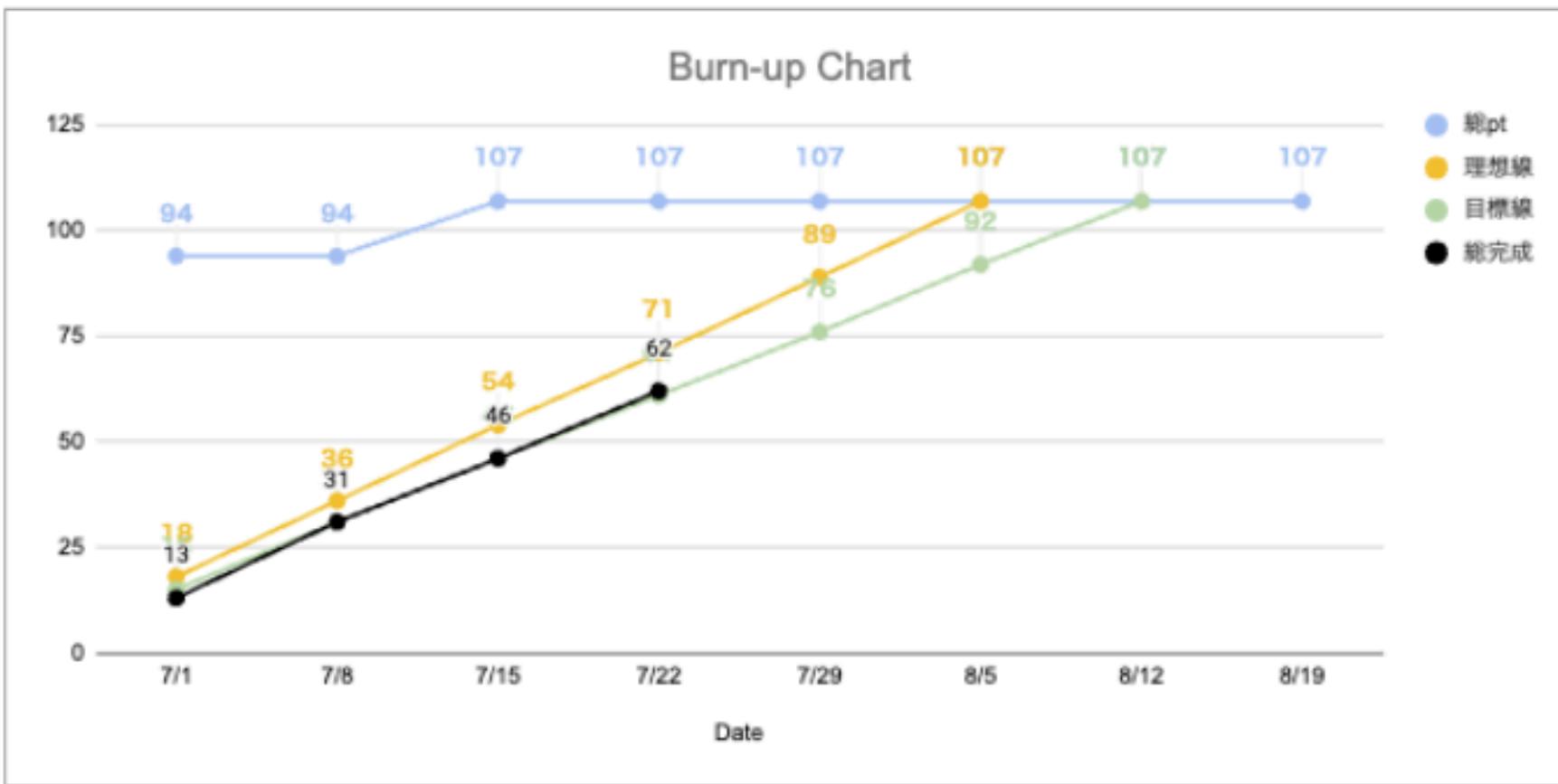
持っている

会員証を発行する

vConsole

# 現在の進捗 (開発開始から3週間半)

ストーリーポイント 62/107 (約60%) 完成



# AIツールスタック

## 使用AI一覧

- エディタ: Cursor
- AI Agent: Claude Code (たまにCline)
- MCP: Figma MCP
- その他: AI Starter

# 開発フロー

## 実際のワークフロー

1. GitHub Issueに細かく要件とタスクを記載
2. Claude Codeに雑に依頼 → 約3~4割の完成度で作成
3. Cursorで細かく修正 → PRまで完成

## デザイン連携

デザイナー（@藤田 花梨さん）作成のFigmaから  
MCPを使ってデータ取得 → コードに落とし込み

# AIだけでもう開発現場は回っている？

→ No

## AIだけでは実現できない要素

- 要件・仕様の詰め
- デザイン
- お客様との信頼関係構築
- 他社ベンダーとの連携・調整

# 成功要因の分析

## 1. LINEミニアプリ会員証のアセットの活用

- 整備されたアーキテクチャとリソース → AIの開発速度と精度向上に寄与

## 2. 正確に設計された要件定義

- 1ヶ月間お客様と対面で時間をかけて実施

## 3. 構造化されたデザイン

- デザイナーによる適切な構造でFigmaデザイン作成と、MCP経由でコードに落とし込み

→ 開発に集中できる環境を整えることが重要

# 重要なポイント

## AIによるコーディングが真価を發揮する条件

-  整備されたアーキテクチャや統一されたコーディングルール
-  正確に設計された要件定義
-  構造化されたデザイン

これらの土台があってこそ、迅速な開発サイクルが実現可能

その上で、我々クラスメソッドが存在する価値は、AIができるない**お客様との信頼関係を構築**し、その上でAIを活用した開発をサポートすることです。

おわり